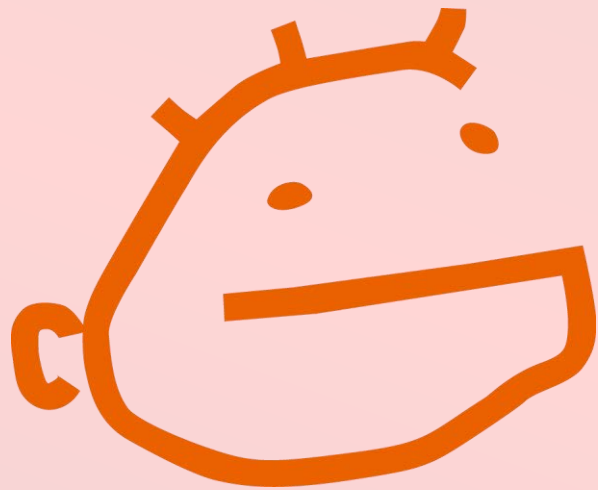




Good Friends Save the Children



GFSC 希望のチャリティー プロジェクト

文化芸術を通じた夢・希望 アジア貧困地域子ども教育支援&東日本復興推進プロジェクト



NPO法人日韓文化交流会

GFSC(Good Friends Save the Children) チャリティーキャンペーン ＜文化+奉仕: K-Charity＞

当NPO法人は、持続的に**文化芸術**と**GFSCチャリティーキャンペーン<文化+奉仕: K-Charity>**を通し、困難に疲弊する国内外の子どもたち、特に災害で苦難に見舞われた東日本地域の方たちへ、愛と希望のGood Friends活動を、10年間余りに渡り、あたたかい多くのアーティスト、ファンと協力し、GFSC社会貢献プログラムを共に推進し、“Love & Hope”というメッセージを発信し、持続的にそして積極的に善なる韓流活動を拡大することに努めています。



IU



東松島市交流まつり



韓国修学旅行プレゼント
パク・シネ、イ・ホンギ (FTISLAND)、
ジョン・ヨンファ (CNBLUE) 参加



BTS



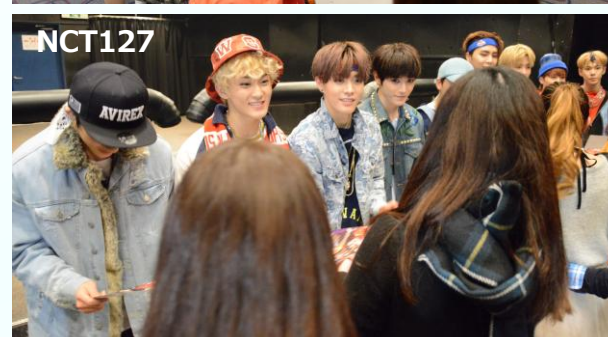
GFSCチャリティー



SISTAR



東松島市がんばっぺみんなの夏祭り



NCT127



BTS児童福祉施設訪問



Good Friends Save the Children

文化芸術を通した夢・希望プロジェクト

当特定非営利活動法人が推進している **GFSC** (Good Friends Save the children) は、文化芸術を通し、アジア貧困地域子供教育支援及び東日本復興支援活動を中心に実質的な手助けと、希望と勇気を後援者の皆様の温かいご声援のもとに、真心をこめた「文化芸術を通した夢・希望プロジェクト」を推進しています。

国内活動

3.11 東日本大震災の発生により、被災地の子供・家族・崩壊されたコミュニティへの支援及び復興を最優先の課題と考え、**宮城県東松島の復興祭支援、宮城県**で犠牲になった子供の鎮魂と復興のシンボルとなった「**青い鯉のぼりプロジェクト**」、そして宮城県で最も被害の大きかった石巻市雄勝中学校の皆さんに伝承されてきた太鼓を通して希望・夢をもっといざなうべく和太鼓支援及び指導者派遣のワークショップを支援を通した精神的なトラウマを癒し克服するため「**DRUM Hope 希望の和太鼓プロジェクト**」、三陸で被害が大きかった岩手県大船渡では、仮設住宅の破壊されたコミュニティの構築の為、韓国語講座及び文化教室開設などを通し、仮設住宅に住む住民たちの交流と励み、心の癒しなど多様な「**希望のコミュニティ形成プロジェクト**」を支援。



海外活動

SDGsの開発目標である[1.みんなのための良質な教育、2.貧困層の減少と社会安定網の強化、3.食糧の安全保障及び持続可能な農業強化、4.健康で幸せな人生の保障、5.ジェンダー平等の保障、6.健康で安全な水管理]に寄与する**GFSCチャリティー事業**(**モンゴル食水・希望の教室支援プロジェクト** / **ネパール希望図書館建設支援プロジェクト** / **カンボジア教育環境・希望の教室支援活動**)を展開しています。



〈日本国内支援活動〉 GFSC 文化芸術による東日本復興支援プロジェクト

Pray for Japan 東日本チャリティーキャンペーン

2011.5.14

本プロジェクトはK-POP、J-POP公演が中断された後、震災後初めて〈Pray For Japan〉のテーマで、**GFSC東日本チャリティーキャンペーン**である「東京伝説」を『さいたまスーパーアリーナ』で開催する中、震災後初行事として日韓両国のスターと多くの方々からの東日本大震災復興へ応援メッセージと激励を受け、東日本復興支援活動を本格的にスタートした。

GFSC東松島市がんばっぺみんなで夏祭り支援〈宮城県〉

2011.7.23

東松島市の震災後初の〈がんばっぺみんなで夏祭り〉に生活日用品および**韓国料理炊き出し**や**韓国文化芸術者の派遣**など地元の方々との日韓交流と復興に貢献。



〈東松島市より2012.3.11感謝状授与〉



GFSC福島復興祭り ふくしま&韓国・食の祭典2013 応援〈福島県〉

2013.4.19~21

GFSC広報大使として「FIX」がチャリティ公演を行い郡山の人たちを魅了。今回の祭典は食を中心して日韓文化交流と福島県の食の安全性を対外にアピールする目的で、郡山に避難している被災地の住民たちも多数参加した。郡山市日和田ショッピングモールで開かれた祭典で毎日2回の公演、子供たちのためのダンス教室を行い、また富岡町には支援物資も手渡した。



2011.7.22

当法人と雄勝中学校、地元支援団体と三者による希望の和太鼓プロジェクト復興支援調印を取り交わし、**和太鼓を贈呈**。「たくましく生きよ!」というキャッチフレーズで、**和太鼓ワークショップを支援**。太鼓を打ちながら子供達の心が癒され、子供たちの心のケアと町復興、そして日韓交流を通し大震災のトラウマを乗り越える支援活動を開始。

2011.9.19

当法人主催「GFSCチャリティイベントKMF2011」に雄勝中学校生徒を招待し、日頃練習してきた太鼓演奏の発表の場を提供。「**これが全てのはじまりでした**」と教員の一人が感慨深げに語られたように石巻市からの初の遠征となった。翌20日は都内の中央区立**佃中学校生徒と初の太鼓による交流に協力**。

KMF2011公演に招待、雄勝中の輪太鼓 初発表の場



都内・佃中学校生徒との初太鼓交流

和太鼓贈呈及び復興支援調印式



和太鼓ワークショップ（古タイヤの太鼓で練習）



3年間寄り添った子供たちの卒業と感謝状の贈呈

2014.3.8

2014年3月8日、16名が雄勝中学校を巣立った。本プロジェクトで、3年間寄り添った生徒たちの、凜とした中にも心温まる素晴らしい卒業式・卒業をみんなで祝う会が挙行された。



希望・夢 韓国修学旅行Present (2012.8.19～23)

2012.8.19～23

“KMF2011”で「**韓国に行ってみよう!**」と語った生徒のコメントを聞き、子供達に韓国の文化や美しい自然に触れ楽しい思い出を作ってもらべく、2012年8月19日から8月23日まで、雄勝中学校教員・生徒全員及びワークショップ支援協力地元文化芸術団体を対象に“希望・夢 韓国の旅プレゼント”を実施。



韓国三政中学校と日本雄勝中学校の学生たちは、お互い太鼓を叩きながら交流し友情を深めた。

2014. 3月 コラボレーション音楽会「世界がわが家」に出演
2014. 9.28

岩手県大船渡夢さんま祭りに石巻市雄勝中学校3年生は片道3時間を掛けての遠征応援に駆けつけた。

2011年3月11日、東日本大震災の日、「青い鯉のぼりプロジェクト」の発起人である伊藤健人君は、最愛の家族である母と弟、祖父母のを4人亡くしました。

享年5歳の弟、律君は毎年5月5日に「青い鯉のぼりは僕だね！」と言って鯉のぼりを揚げるのを楽しみにしていたと言います。

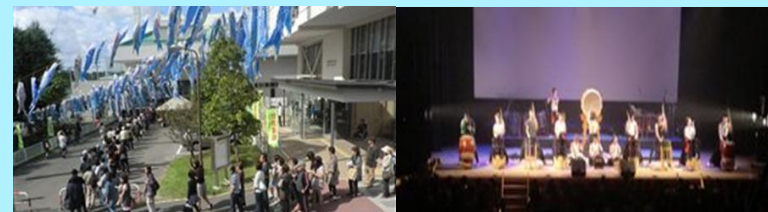
「青い鯉のぼりプロジェクト」は、兄の健人くんが小さな弟の亡骸に対面した時、この声が耳元で蘇り、崩れた自宅跡から泥まみれの青い鯉のぼりを探し当て、自宅の庭後に揚げたのが始まりでした。

震災で亡くなった子供たちが天国で寂しくないように追悼の思いと震災復興のシンボルとして、毎年5月に「青い鯉のぼり」が掲げられています。

2012.5.5～2019.5.5 青い鯉のぼりの下に腰を下ろす会 vol.1～vol.8

東松島市地元の方々、文化芸術者団体太鼓チームと共に、この集いが天国に逝った子供達の追悼と災害復興のシンボルとしての＜祭り＞となるよう協力団体として継続して支援活動を行う。震災後、住民はかつての故郷を離れての生活を余儀なくされ、故郷の地に足を向けることもない。＜祭り＞の場としてこの地に集まり、伝承されてきた故郷の太鼓演奏を聞きながら、再開の喜びを語り合い、共に過ごす時間の共有を通して崩壊したコミュニティーの再生に繋がるよう尽力し、また韓食（チヂミ・トッポッキ・キムチ鍋など）の炊き出しを行い、日韓文化交流も実践した。

2011 9.25 青い鯉のぼりと東日本大震災復興と追悼の邦楽コンサートM's Japan Orchestra



当法人が共催者として協力する雄勝中学校、太鼓の指導者である地元芸術団体による青い鯉のぼりプロジェクトM's Japan Orchestraの震災後初の追悼コンサートを共同開催。当法人は韓国芸術者の派遣や炊き出し支援を行い参加各団体と日韓交流を持った。地元支援者に勇気と希望を与え復興再生の力を与える地元初イベントとなった。



2021.5.5 コロナ禍では、青い鯉のぼり リモートプロジェクト 2021-風を興す SNSに参加

岩手県大船渡 日韓文化交流による被災地への心の癒し

2012
7.16



岩手県で活動する＜Child Fund Japan＞地元NPO団体の要請に応えコミュニティの崩壊の中、仮設住宅に取り残され困難な生活を余儀なくされている主婦の方々と**言語・歌・料理・会話・ゲームで楽しむ様々な日韓文化交流**をもった。定期的な希望のコミュニティ形成と支援活動により勇気と希望を与えた。（東海新報・テレビ岩手で大きく取り上げられ関心が高かった）

内閣府提供でテレビ岩手放送による「手を、つなごう。岩手～明日への希望～」NHK日韓交流による被災地復興支援活動に多くのメディアが関心を持ち取材した。（2012.7.17）



2012.07.17 東海新報 6面 掲載
東海新報 6面掲載
2012. 07. 17

**隣国の文化に触れる
大船渡で日韓交流会**

大船渡市大船渡町の渡部商店街で開かれていた「日韓文化交流会」が、大船渡地区公民館で16日、日韓文化交流会が開かれ、参加した住民らが韓国料理教室や韓国語講座を通して、隣国の文化に触れた。

交流会は同町の大船渡地区公民館で開かれ、大船渡市大船渡町の渡部商店街で開かれていた「日韓文化交流会」が、大船渡地区公民館で16日、日韓文化交流会が開かれ、参加した住民らが韓国料理教室や韓国語講座を通して、隣国の文化に触れた。

交流会は同町の大船渡地区公民館で開かれ、大船渡市大船渡町の渡部商店街で開かれていた「日韓文化交流会」が、大船渡地区公民館で16日、日韓文化交流会が開かれ、参加した住民らが韓国料理教室や韓国語講座を通して、隣国の文化に触れた。



韓国東亞日報
2012. 5. 4

津波 絶望を追い払う呪文は「カギヤゴギヨミ」だった

韓国語を通して仮設住宅に住む住民たちの交流と心の癒しプログラムが2012年4月13日から始まりました。





2013年～16年、2018年

“夢さんまつり”

岩手県大船渡
夢商店街

～手をつなごう日本 頑張れ！！岩手大船渡～
岩手×GO！GO！大船渡さ あべ！

2011年12月に「大船渡」駅前・茶屋前地区に、付近の商店主がプレハブ店舗で「夢商店街」を開業し営業を再開。当時は、仮設での商店街の再興という事で話題を集めたが、昨今客数も減少してきており、厳しい現状が続いている。2012年に初めて“夢さんまつり”を開催。2013年の開催を企画する中、客足の減少に不安を抱えている地元住民が、2013年7月21日にNPO法人日韓文化交流会東京事務局に来訪され、「第2回夢さんまつり」と「夢商店街」活性化支援を熱く要請。地元からのチャイルド・ファンド・ジャパンの撤退もあり、今まで連携をしてきた当法人が頼みの綱と思い、直接、要請に来られた。熱い要請を受け、当法人と地域住民が連携して、「夢商店街」の再興の為に力を合わせ、幅広く「夢さんまつり」を知らせると共に、盛り上げ、大船渡景勝地の観光も含め、「夢商店街」を中心に広く地元の活性化と、町おこしに新しく貢献できる企画としてGFSC東北Hope Community Projectを推進していくこととなった。大船渡名物“さんま”を使つての「夢さんまキムチ鍋」をB級グルメのブランドとして発信して行き、大船渡地区の魅力“観光”をアピールし積極的に観光客誘致し復興につなげたいと願い、NPO法人と組んで団体観光も合わせて、この祭りの応援団を組み大船渡・夢商店街を訪れ、“夢さんまつり”を楽しんだ。“夢さんまつり”の趣旨に賛同するK-POPアーティストのライブ公演、地元岩手県大船渡東高校の太鼓部の演奏など大船渡の“食”と“音楽”と“観光”と“初披露されるグルメ”を連結して、夢さんまつりを盛り上げ東日本震災復興につなげてきた。



2012.8.6～8.9

韓国大使館主催、当法人主管の日韓高校生による韓日高校生友情CAMP＜高高Summer！2012＞において、両国は初めて最近社会的ニュースになっている日韓両国の共通の問題点「いじめ」をテーマに、実際いじめを受けた学生も多数参加し、専門家も交え討論、ロールプレイ、共同絵書き等により明るい未来・希望に向け交流をもった。両国の高校生は文化の違いの壁を、寝食を共にし、互いの言語を使う買い物体験や、言葉を必要としないダンスの練習等により文化の壁を乗り越え、さらに日韓友情を深めた。



いじめは絶対ダメ！友情を深めよう！



いじめに対する討論会



日韓高校生友情の木記念植樹 ～高麗神社～



バーベキューでお互い焼いてあげて親睦を深める



いじめに関するロールプレー



いじめに対して日韓の高校生が真剣に取り組む姿をNHK,KBSなどが取材した



良い友だちになろう！と誓う
日韓高校生たちーキャンドルセレモニー

子供達に夢と希望をプレゼントする韓国アーティストの児童福祉施設訪問は、2010年の「第61回さっぽろ雪まつりK-POP FESTIVAL2010」に出演したSHINeeからの申し出により開始致しました。これまで、シウォン(SUPER JUNIOR)、BTS、n.SSign、Red Velvet、(G)I-DLE、NATURE、NU'EST、MR.MR、ZE:A、キム・ナムギルなど韓国を代表するアーティストが札幌、埼玉の児童福祉施設を訪問し、逆境にも負けずに元気に頑張る子供を励まし、プレゼント贈呈やゲームを一緒にするなど、温かい交流を継続的に行っております。子供達に夢と希望をプレゼントする触れ合いの交流は、子供達だけでなくアーティストにとっても忘れられない思い出として刻まれています。

埼玉県

2010年4月18日 俳優 キム・ナムギル

2019年6月22日、8月5日 シウォン (SUPER JUNIOR)



北海道（札幌）

2010年2月 7日 SHINee
2012年2月10日 ZE:A
2013年2月 8日 BIGSTAR、D-UNIT
2014年2月 7日 NU'EST、MR.MR
2014年9月 2日室蘭、9月9日札幌 MR.MR
2015年2月 6日 C-CLOWN
2016年2月 5日 **BTS**
2017年2月10日 Red Velvet
2018年2月 9日 TARGET
2019年2月 8日 (G) I-DLE
2020年2月 7日 NATURE
2023年2月10日 n.SSign
2024年2月 9日 安達祐人
2025年2月10日 MYTRO
2026年2月 6日 JUSTB



GFSC韓国文化体験イベント 2019年11月23日〈札幌〉

子供達がGFSCサポーターズと一緒に韓国文化体験をしながら直接ふれあう「GFSC韓国文化体験イベント」初の試みとして実施。



「ホットク」、「ソットクソットク(ソーセージ+お餅)」の韓国料理作り、韓国語の挨拶を使ったじゃんけんゲームで交流

興正学園 興正フェスタ（学園祭・札幌市）2023年9月9日（土）、2024年9月7日（土）



韓国本場の味のチヂミ&フルーツエイドドリンクの韓国屋台の依頼を受け出店、
日韓Dance de SmileによるK-POPカバーダンス披露。韓国チヂミの屋台は、本場の味と大好評！

毎年、手作りキムチ、クリスマスにはお菓子をプレゼント



2020年4月手作りマスクをプレゼント



NPO主催公演に子供たちを無料招待 VII

NPO法人日韓文化交流会では、文化・芸術を通し子供たちの夢と希望を応援するGFSC Charity Campaign Concerts【KMF、さっぽろ雪まつりK-POP FESTIVAL、東京伝説2011、GFSC Good Friends Charity Premium Concert 等】を運営しています。

これまで、K-POP&韓国文化に関心がありながらも、生まれ育った環境や地域のために苦しい思いをしている子供たちが、**音楽を楽しむ機会を得て、韓国文化に触れる機会を作ってあげたい**との思いから、協力関係を結んできた諸団体を通し運営をしている公演に子供たちを無料招待してきました。

「東京伝説2011」東日本大震災で被災した子供たちを無料招待 (2011年5月14日：さいたまスーパーアリーナ)



「16thKMF2024」ヤングケアラーの子供たちを無料招待 (2024年10月6日：横浜アリーナ)



「さっぽろ雪まつりK-POP FESTIVAL」児童養護施設の子供たちを毎年無料招待 (札幌)



〈海外支援活動〉GFSC文化芸術によるアジア貧困地域子供教育支援プロジェクト



モンゴル食水・ 希望の教室支援プロジェクト

(2009.7.23～
(2011.6.26～7.4)

NPO法人日韓文化交流会は、長い間日韓協力によるアジア貧困地域子供教育支援をおこなってきました。モンゴル、ウランバートルの劣悪な教育環境であるチンギルテ地域で貧困層の子供たちのためにアフタースクール運営を支援。また、遠くまで水を汲みにいかないといけなかった地域に、井戸を掘削。水質のよい水は、村の人々が待ち望んでいた事です。又、幼稚園を訪問し、壁紙の張り替え、机＆椅子の修繕等のボランティア活動を行い、地元子供達と交流を深めました。



ネパール希望図書館建設 支援プロジェクト (2012.1.9～15)

ネパール、海拔2400Mの山頂にあるブミマタ学校。地域住民自治会と学校の要請企画に、ネパールNGO団体とGFSCが手を携え協力した。図書館建設にカマチャヤ校長は、教科書以外に本を持っていない学生に希望と喜びを与えることとなるだろうと話し、地域指導者の育成につなげたいと情熱を語った。GFSCはこの図書館プロジェクトを継続的に続ける為、本と建築用ブロック寄贈キャンペーンを実施。



カンボジア教育環境・ 希望の教室支援活動

カンボジアの農村貧民地域にあるプニー学校は、学校環境があまりにも劣悪で、校舎1つに4教室しかなく、教師も不足しており、図書館、トイレ、職員室、給食室もない学校です。今、子供たちが学校生活で一番困っているのは学校にトイレがないことです。長い内戦がようやく終わり、変化が続いているカンボジアだが、まだまだ教育施設は整備されず、多くの子供たちは厳しい環境に置かれている。そんな厳しい環境の中でも、住民たちは教育に熱心な関心を持っている。GFSCはカンボジアの子供達だけでなく、多くの人々に希望を持ってもらうべく支援します！



報道紹介

KBSニュース 2012年8月22日
東日本大震災の日本の学生
“韓国ありがとう”



NHK 2012年8月22日
被災地中学生 韓国で太鼓演奏

中央日報 2012年8月21日

韓国を訪問した日本の大地震の被害を受けた学生達

21日午前、ソウルの市庁別館で、希望・夢 韓国の旅プレゼントで韓国を訪問した雄勝中学校の学生達が、パク・ウォンスン市長と対話をしながら明るく笑っている。昨年の東日本大震災当時、最も被害が大きかった石巻市に位置する雄勝中学校の学生たちは「希望・夢 韓国の旅プレゼント」を機会に自分たちを助けてくれた、韓国の人に感謝の気持ちを伝え、太鼓の公演を通し韓国とのより緊密な交流を持とうとソウルを訪問した。



スポーツ韓国 2012年8月13日

チョン・ヨンファ、パク・シネ、イ・ホンギ
GFSC '希望・夢 韓国の旅プレゼント' 行事に参加



FNN 2012年8月22日

宮城・石巻市の中学生が韓国で太鼓披露
震災支援に感謝の気持ち

震災で支援を受けたことに感謝の気持ちを伝えようと、宮城・石巻市の中学生が韓国で太鼓を披露した。石巻市の雄勝中学校の生徒たちは、津波で失った和太鼓の代わりに古タイヤを使った太鼓で力いっぱい演奏。韓国の人たちに感謝の気持ちを伝えた。また、韓国の中学生も太鼓を演奏し、竹島問題などで日韓関係が悪化する中、両国の中学生たちは友好を深めていた。



東亜新聞 2012年8月21日

20日、午前ソウルのNソウルタワーで日本の宮城県石巻市雄勝中学校の学生達が望遠鏡でソウルを見学している



河北新聞 2012年8月

復興支援に感謝
韓国で「輪太鼓」

